

メキシコ金融政策（2022年3月）

全会一致で0.50%ポイントの追加利上げ

2022年3月25日

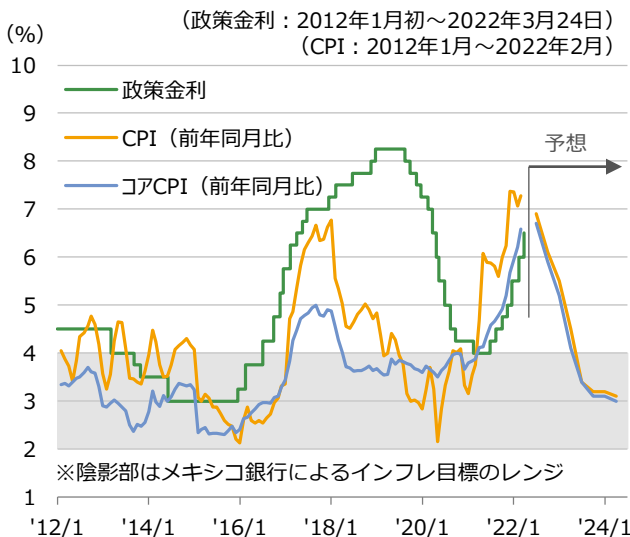
インフレ抑制に向けた利上げ継続がメキシコ・ペソの下支え要因に

メキシコ銀行（中央銀行）は3月24日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を6.00%から6.50%に引き上げることを決定しました。利上げは7会合連続で、直近3回は0.50%ポイントの利上げ幅です。過去2回は0.25%ポイントの利上げを主張していたエスキベル副総裁も、今回は0.50%ポイントの利上げに賛同し、全会一致での決定になりました。

声明文では、またしてもインフレ見通しを上方修正しており、当面の利上げ継続が示唆される格好となりました。具体的には、ウクライナ情勢の緊迫化による商品価格の高騰やサプライチェーン混乱の継続などを背景に、CPI（消費者物価指数）とコアCPIの予想値を予測期間全体にわたって上方修正し、コアCPIがインフレ目標の中心である3%に回帰する時期が、これまでの2023年4-6月期から2024年1-3月期に後ずれしています。更に、コアCPIの高止まりに対する警戒感を強めた上で、インフレ見通しに関するリスクは依然として上振れ方向だとも指摘しています。

前回2月10日の会合後、ウクライナ情勢の緊迫化によりメキシコ・ペソは対米ドルで下落する場面もありましたが、メキシコ銀行の利上げへの期待などから、足元では再び20ペソ/米ドル付近まで買い戻されています。今後もインフレ抑制に向けた利上げがメキシコ・ペソの下支え要因になると期待されます。

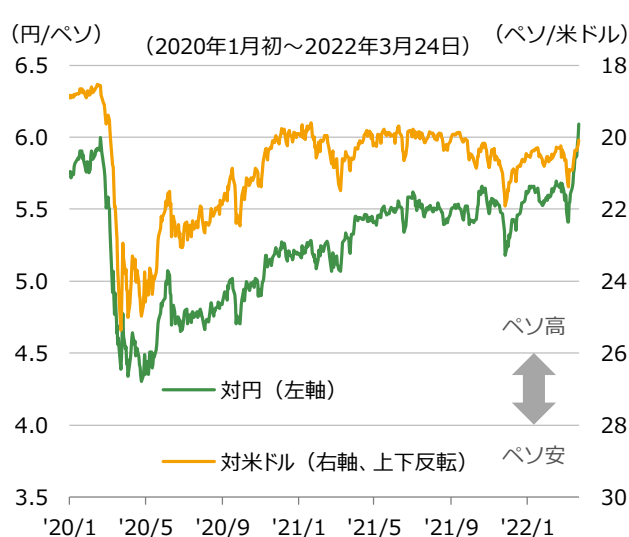
メキシコの政策金利とCPI



※CPIの予想は2022年4-6月期～2024年1-3月期
(2022年3月時点のメキシコ銀行による予想)

(出所) メキシコ銀行、ブルームバーグ

メキシコ・ペソの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。